

【産業グループ】 穂高東中学校 上条藍悠

僕は、穂高東中学校二年、上条藍悠です。産業グループは五人で構成され、商業・工業観光振興・農業・林業について学習してきました。

僕は、安曇野市をPRするには観光のしやすい街にすることが大事だと思います。

僕が街を歩いているときも、自転車や自動車に乗っている人に「〇〇ってどこかな」と聞かれて説明や案内をすることがあります。その時になぜ迷ったのかを聞くと、大きな看板のあるところが少なく、地図を見ても平行な道が何本もあって間違えたと行っていました。

なので、その解決策として僕は、1m×2m程度で左側に写真、もしくはイラストの入った看板を駅前やIC前に設置し、幹線道路やある程度太い道に誘導、そして、曲がる所にも設置同じような道で迷わないようにする事を提案します。

また、この看板をもっと有効活用するためにマップにも看板の情報を載せてしまい、インターネットに標記すれば、看板を見た時の現在地もわかる上に、道を説明する時にも看板を基準にして説明しやすくなります。

そして、案内所を駅前ではなく、安曇野市の車の玄関口でもあるIC前や市内各観光スポットの窓口等に配置し、観光客への次の目的地までの案内や電車の時刻等を教える、また渋滞時は空いている道を案内し、渋滞の緩和につなげていくと良いと思います。

なお、その際の観光客の方々の知らない観光スポットを教えることもいいと思います。

これらの事をやることにより、①渋滞緩和、道に迷うことの減少②①によって多くの場所をじっくり観光でき、もっと安曇野の良さを知ってもらえる③それによって、帰った後でもまた来たいと思ってもらえる、さらには口コミ等で良さを広げてもらえて誘客できる3つの効果が期待できます。

このことから、観光をしやすくすれば、より観光で安曇野らしさをPRでき、さらなる発展につながると思います。

【ご担当部 商工観光部長】

【産業グループ】 穂高西中学校 向山恵介

僕は、穂高西中学校二年、向山恵介です。穂高では自転車での観光が増えてきてます。

僕は、今後安曇野市全体で自転車による観光が増えるのではないかと思います。

しかし、自転車道が少なく、車や歩行者の接触などの危険性があります。また、観光地の自転車置き場が少なく、自転車が雑に放置され、車の迷惑になってしまいます。このような問題があると利用者が観光しにくくなってしまうと思います。

この問題に対して、自分たち市民ができることは、今ある自転車置き場の整備ではないかと思います。木が覆いかぶさっているもの、部品が取れてしまっているものをよく見かけます。これでは、利用者が使えなくなってしまう、市全体の印象を悪く思ってしまうかもしれません。だから、市民が主体となって整備することが必要なのではないかと思います。

しかし、これは市の協力なくしては実行できません。市は、自転車道の設備やカーブミラーや自転車置場の設置などを行うことが必要です。穂高でいえば、観光客がよく自転車で訪れる山麓線には自転車道が少なく、車道を走っている状況がよく見られます。このような問題の解決のために、市は自転車道を整備してほしいと思います。

僕はこの結果、自転車による安曇野観光が定着し、市民、観光客の自転車利用者が安全に安曇野を楽しめると思います。

【ご担当部 商工観光部】

【産業グループ】 穂高西中学校 濱田清空

僕は、穂高西中学校二年、濱田清空です。

僕が安曇野市の産業の中で一番課題があると思うのは、工業です。工業の中でも課題があると思うのは製造品出荷額の減少で、このもっとも大きな原因は事務所数の減少だと考えます。安曇野市は、製造品出荷額が県内四位とかなり高いですが、それでも出荷額は年々徐々に減っていて、事務所数の数も減っています。

ここ安曇野市に事業所を置いてもらうためには、安曇野市が他とは違う貴重で、素晴らしいものを持っている、ということをも県、全国に伝えなければならないと僕は考えます。

では、その他とは違うここだけのものとは一体何なんでしょうか。それはこの市の自然に関わるもの、環境に関わるもの、人や産業に関わるもの、いろいろあると思います。どういふもので、何に関わるのか。それを発見、導き出すことが今の自分にできることだと考えます。また、これは、安曇野市民全員が考え、それに自信を持ち、周りに誇れようにしてほしいと思います。

しかし、自分たちが自慢できると思える答えを持っていたとしてもそれだけでは事業所は置いてくれません。そこで、安曇野市では、企業が事務所を置きやすいような仕組みや環境の整備をすることが大切だと思います。また、市の存在をアピールするために、市民にアンケートをとり、それをもとに市のキャッチコピーを考え、事業所を置きやすい環境整備などとともに、外部に発信して行ってほしいと思います。それに対して僕は少しでも市に協力できるよう、周りの人にここだけのものを考えてもらおうと思います。

今自分たちが住んでいるこの市に誇りを持ち、他の市、県、そして国にまで自慢できるようなことがあれば、安曇野市は活気に満ちた素晴らしい市になり、企業も事業所を置いてくれ、製造品出荷額も増加すると思います。

【ご担当部 商工観光部】

【産業グループ】 三郷中学校 大山 至

僕は、三郷中学校二年、大山 至です。

僕は、安曇野ブランドのわさびについてお尋ねいたします。

大手お菓子メーカーのカルビー、コイケヤ、亀田製菓などの会社は、期間限定で安曇野産わさびを使用しているそうです。これによって安曇野産わさびの売上が伸びているのでしょうか。調べてみるとそうですが、安曇野産わさびはお菓子などに使われているそうですが、静岡県産わさびの方が知名度が高く、全国の五十パーセント以上を占めています。理由として考えられるのは、静岡県産わさびの方が値段が高く、高級という感じがあるからではないでしょうか。

この課題に対して、安曇野産わさびの良さを PR すればいいと思います。わさびには抗酸化作用という老化を防ぐ物質が含まれています。それに美容に良いとされ、ダイエット上に効果的だと言われていています。女性を中心に PR してみてもどうでしょうか。

自分は、このようなアイデアしか出ませんが、この実現に向けて協力していきたいです。市では、この美容を機に新商品の開発に力を注ぎ、地域の会社と連携していき、静岡との差を縮めていけるようにしたいです。そして市は、安曇野の名を広げるチャンスです。もっと活気がでて明るくなると思います。

長野県には、海がないぶん、利用が少ないと思います。ダイエットに効果的なわさびを市と会社が協力して、わさびの美容効果を更に PR できる新商品を作り、安曇野の良さを広げてみてはどうですか。

【ご担当部 商工観光部】

【産業グループ】 堀金中学校 上田有人

私は、堀金中学校二年上田有人です。

私は農業についてお尋いたします。

私は、学習会を通じ、農家が年々減少していることが課題である考えました。この課題は今の若い人たちが農家を継がないことと、所得が少ないと思っていることが要因だと考えます。このことに対して私は農家の仕事に興味を持ってもらい「農家になりたい。」と思ってもらうことが必要だと考えました。そのためには、まずは私が農家に関する知識を深めていこうと思います。そうすることにより、学校で発表するといったことができ、少しでも興味を持ってもらうことができると考えます。

しかし、そういったことではわずかな人にしか興味を持ってもらうことができません。そこで、市が農家の利点や仕事内容を載せたパンフレットを作って広報すればそういった課題も解決できると考えます。また、それだけでなく、農業に興味を持った人に向けた農業体験をすることができる場所などを設けるなどといったことを行うと、将来的には農家が増加して特産物の量が多くなったり、田園が荒地地にならず今以上の景観になったりして結果的に観光客が増え、安曇野市という地名が全国に広まると私は考えます。

【ご担当部 農林部】